

# HTMLによるWebページ制作

研究者：多和田、杉原、濱田

## 1 はじめ

普段何気なく閲覧している Web ページを自ら制作しようと思い、このテーマにした。

## 2 研究の内容

現代社会で問題になっている「歩きスマホ」を題材に HTML や CSS (スタイルシート)、JavaScript を用いて Web ページを制作した。

Web ページをできるだけ見やすくわかりやすいものにしようといろいろなソフトを使い、ページを分担して制作した。

## 3 研究過程

- 4月 : Web ページのテーマ決め
- 5～6月 : 文字の表示や画像の表示  
リンクの貼り付けなどの  
HTML 演習  
: 文字に色をつけたり、背景  
画像の固定表示などの CSS  
演習  
: Web ページに動きを付ける  
画像の切り替えを行った  
JavaScript 演習
- 7月～10月 : 演習を元に Web ページ制作  
また、クラスに題材に関するアンケート
- 11月 : 文化祭展示&コンテストへの作品提出
- 12月 : プレゼン、レジュメ作成
- 1月 : レポート作成、発表

## 使用したソフト

- ・メモ帳
- ・Excel
- ・ウェブアートデザイナー

## 4 研究の成果

まずは、トップページに表示させる文字や画像を制作した。ウェブアートデザイナーの中にある素材を使って「歩きスマホの危険性」という文字を作った。また、画像を貼り付ける際、大きすぎたり、小さすぎたりするため width、height で画像の大きさを調整した。

さらに<TR>、<TD>タグで表(テーブル)を作り、見やすいものにした。(下図)



図1 トップページ

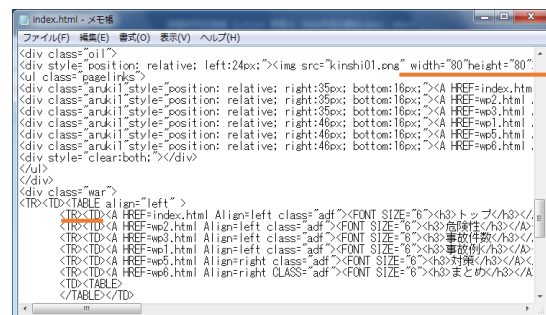


図2 図1のプログラムの一部

**事故例**のページでは、主に Excel を使用した。今までの知識を生かして円グラフで事故の件数を表したり、搬送人数をグラフで表したりした。

また、画像や文字をプログラムに center タグを入れることで中央に配置したり、left, right タグで左右に配置させることができた。



図3 事故例のページ

**対策**のページでは主に JavaScript を使用した。文中に JavaScript を組み込むと、文字や画像、ページ等に種々の自動的な「バリエーション」や「動き」が与えられ変化させることができる。カーソルを画像の上に置くと画像が切り替わるということができた。他にも、カーソルを合わせることで文字の色を変えることができた。



図4 対策のページ

**まとめ**のページでは主に参考文献を載せた。そこにリンクの機能を付け、クリックすると指定ページに飛ぶようにした。

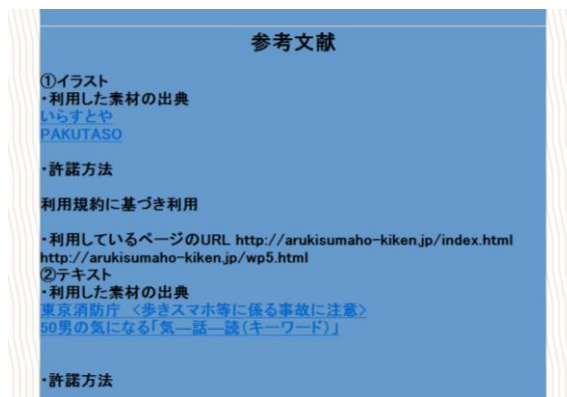


図5 参考文献とリンクしたページ

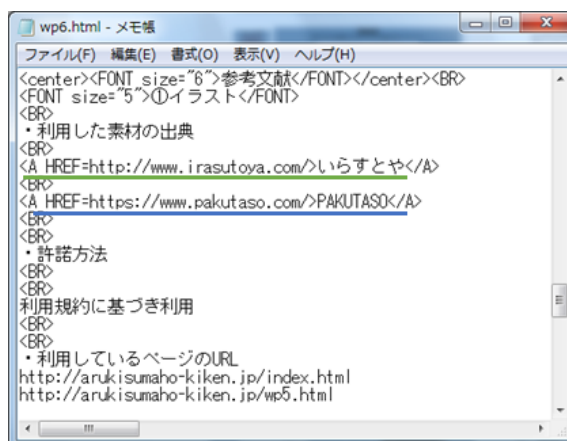


図6 図5のリンク機能のプログラム

### まとめ

Web ページ制作で色々な言語を学ぶことができた。プログラムはなかなかうまくいかないことのほうが多かった。それに、まだ機能が少なく完成度が低いと感じる。そのため、機能の追加や細かい修正をしていくことでよりよい Web ページにしていきたい。